

平成21年度 河川レンジャー年間活動計画（案）

平成21年2月

枚方出張所管内河川レンジャー 立川亨一・上田 豪
荘司弘之・瀬野卓男
山口 進

目 次

1. 立川レンジャー	1
1.1 活動テーマと活動分野	1
2. 上田レンジャー	6
2.1 活動テーマと活動分野	6
2.2 子どもが安全に遊び、学べる水辺の発信拠点づくりパート	7
2.3 淀川丸ごと体験会	11
2.4 淀川と人との関わりの歴史探求.....	15
2.5 茨田樋イチョウまつり	20
2.6 淀川と人との関わりを探る	23
3. 荘司レンジャー	26
3.1 活動テーマと活動分野	26
3.2 淀川の野草ウォッチング	27
4. 瀬野レンジャー	32
4.1 活動テーマと活動分野	32
4.2 枚方市、大阪市ほかの浄水設備の取水場の施設見学会及び淀川自然散策会	33
4.3 淀川の自然、景観を啓発する活動.....	38
5. 山口レンジャー	41
5.1 活動テーマと活動分野	41
5.2 琵琶湖・淀川流域での環境保全活動とネットワークづくり.....	42

1. 立川レンジャー

1.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする立川レンジャーは以下の活動テーマのもと、5つの活動を実施します。

活動テーマ

人々の生活に恩恵を与える淀川を伝承する

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川的环境保全を図る活動	点野わんど植生観察会
	点野わんど水生生物観察会
	点野わんどクリーン作業
	点野わんど外来植物除去作業
	点野わんど野鳥観察会

(1) 活動目的

a. 点野わんど外来植物除去作業

点野わんどに繁茂している外来植物の除去を行い環境保全に資する。

b. 点野わんど植生観察会

点野わんどを中心とする河川敷に見られる植生の観察を行い、同地域の自然環境を知る。

c. 点野わんど水生生物観察会

点野わんどに生息する魚類や水生生物の観察を行い同地の自然環境を知る。

d. 点野わんどクリーン作業

点野わんどに散在するごみを除去し同地の美化を図り環境保全に資する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		現地下見、広報
	7月	a. 点野わんど外来植物除去作業	スタッフ依頼、用具準備
	8月		現地下見、広報、スタッフ・講師依頼
	9月	b. 点野わんど植生観察会	現地下見、広報、スタッフ・講師との連絡、用具準備
	10月	c. 点野わんど水生生物観察会	現地下見、広報、スタッフ依頼、連絡、用具準備
	11月	d. 点野わんどクリーン作業	現地下見、広報
	12月		
平成 22 年	1月		現地下見、広報、スタッフ・講師依頼
	2月	e. 点野わんど野鳥観察会	スタッフ・講師との連絡、用具準備
	3月		

(2) 参加対象者・定員

a. 点野わんど外来植物除去作業 (定員約 30 名)

一般市民

b. 点野わんど植生観察会 (定員約 30 名)

一般市民

c. 点野わんど水生生物観察会（定員約30名）

一般市民

d. 点野わんどクリーン作業（定員約30名）

一般市民

e. 点野わんど野鳥観察会（定員約30名）

一般市民

（3）実施内容

a. 点野わんど外来植物除去作業

わんどを中心とする河川敷に繁茂する外来植物の除去

b. 点野わんど植生観察会

わんどを中心とする河川敷付近の植生状況の観察

c. 点野わんど水生生物観察会

わんどを中心とする水域に生息する生物の観察

d. 点野わんどクリーン作業

わんどを中心とする河川敷に散在するゴミの除去

e. 点野わんど野鳥観察会

わんどを中心とする河川敷付近に飛来する野鳥の観察

（4）実施日

a. 点野わんど外来植物除去作業 平成21年7月

b. 点野わんど植生観察会 平成21年9月

c. 点野わんど水生生物観察会 平成21年10月

d. 点野わんどクリーン作業 平成21年11月

e. 点野わんど野鳥観察会 平成22年2月

(5) 実施場所

点野わんど河川敷、付近水域



(6) 広報・募集方法

- ・ 淀川管内河川レンジャーホームページへの掲載
- ・ 寝屋川市の広報誌への掲載
- ・ ねや川水辺クラブへの広報
- ・ 付近小学校への広報

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ	ねや川水辺クラブ	若干名
	運営補助	
講師	ねや川水辺クラブ、寝屋川市自然を学ぶ会	

(8) 必要支援内容

国土交通省	資料の作成
	用具の準備
	現地への通行

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師・スタッフの手配、連絡
- ・広報活動
- ・資料作成
- ・用具手配、準備
- ・当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・寝屋川市以外での広報活動があまりできていなかった。本年度は、大阪府や近隣の行政、河川レンジャーの連携にも期待したい。
- ・活動内容を絞り時間に余裕を取った

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・必要な用具の準備
- ・現地の安全な通行・移動（階段等がない）

(12) その他

河川レンジャーの活動が広く地域住民に知られるよう役に立ちたい。
また、市民と行政が河川環境の向上に協力している姿を啓蒙したい。

2. 上田レンジャー

2.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする上田レンジャーは以下の活動テーマのもと、5つの活動を実施します。

活動テーマ

子どもたちに淀川を知ってもらう学習拠点となるフィールドづくり

子ども・流域市民に、淀川と人とのかかわり・淀川の自然・淀川の歴史・川の楽しさを知ってもらい、今後の川との付き合い方を考えていただく。

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の適正な利用の推進を図る活動	子どもが安全に遊び学べる水辺の発信拠点づくりパート（外来種草刈、清掃）
河川の適正な利用の推進を図る活動	淀川丸ごと体験会（葦笛づくり、水辺の昆虫採集、魚とり、舟乗りなど）
淀川に係わる歴史・文化・の普及啓発	淀川と人との関りの歴史探求（茨田の樋門跡、点野スーパー堤防緑地、太間船着場、点野わんどの見学会）
	茨田樋イチョウまつりと舟乗り体験
	淀川と人との関りを探る（木屋・太間地区を中心に）

2.2 子どもが安全に遊び、学べる水辺の発信拠点づくりパート

(1) 活動目的

活動箇所の特徴

太間船着場と点野わんどの間に位置する点野砂州は砂泥浜と沈床の名残が連続する水辺で、イベント時には船を着けることもでき、ヤナギの大木がまばらな林を形成していて夏場には結構な日陰をつくっている。また、低水護岸のそばには管理用道路が通っているなど安全に利用しやすい場所である。

枚方出張所管内においては、他に自然の豊かな水辺であっても、管理用通路から遠く人気がないなど安全管理に問題があるなど、子どもが安全に川を学び川を感じることでできる場所は他に見ることができない。

経過

子どもたちの川遊びや学習だけでなく、川の市民活動の拠点には格好の場所であることから、一昨年、昨年は、大型ごみや砂州や砂浜に埋まったごみを取り除くと共に、次々に種類を変えて成長する外来植物の草刈等の整備を行ない、「淀川丸ごと体験会」や「淀川と人とのかわり歴史探求」などの催しに活用してきた。

引き続き、砂州の外来植物の「種の落ちる前の草刈り」や水辺のミズヒマワリなどの除去作業を続けることで、在来植物の生育を促進し、人が手を入れた里川的自然を実現し、活動拠点として活用する。

また、点野スーパー堤防土砂備蓄緑地に整備されている建築物（ワークショップで提案）の多面的活用の早期実現によって、官民共同による“親しめる水辺づくり”として砂州・ワンドの整備を先行して実施していく。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	中～下旬草刈開始。以降、3回/月を目途に作業	
	5月	〃	
	6月	6月下旬～7月上旬（梅雨後期）集中して作業	
	7月	2～3回/月を目途に作業	
	8月	〃	
	9月	1～2回/月を目途に作業	
	10月	〃	
	11月	〃	
	12月	〃	
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 市民団体などと協力して実施

定員 各回定員なし。（昨年、H20実績は延べ200人）

(3) 実施内容

外来種の草刈り

（セイヨウカラシナ、ネズミムギ、セイトカアワダチソウ、ナガエツルノゲイトウ、マメアサガオ、ホシアサガオ、オオブタクサ、アレチウリ、在来カナムグラ等々）

大型ごみの撤去、外来水生植物除去（ミズヒマワリ、ナガエツルノゲイトウ等）

(4) 実施日

平成21年4月～12月

(5) 実施場所

点野船着場と点野ワンド間の砂州



(6) 広報・募集方法

現在のところ未定であるが、昨年同様、市民団体への要請を主とし、「草刈十字軍」の募集も検討する(広報)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

定常的に参加できるスタッフは数人必要。月に1回は多人数で行う。

(8) 必要支援内容

- 寝屋川市 : ボランティア車輛の貸し出し、刈払い機の貸し出し、刈り草の処分
- 国交省 : 不燃ごみの処分、刈払い機燃料・替え刃等消耗品支援

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 実施計画の立案
- 関係機関との調整
- 協力スタッフの手配、打合せ
- 資料作成
- 当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年は4月の草丈の低いときの草刈りが出来ず、5月連休明けから作業を開始した。草丈が伸びボリュームも比較にならないくらい大量となってしまった。昨年は、5月連休前の伸びる前に早めの除去作業を実施し、その後の作業軽減をすることができました。季節により現れる種類が違いため春のセイヨウカラシナ～初冬まで残るアレチウリまで通年作業は続ける。

セイヨウカラシナなど一部の種が落ちてしまった恐れのあるものもある。種が落ちると次の年に何倍もの作業をすることになるので、種が成長するまでの除去に努めたが、一部種（カナムグラ、アレチウリ）が落ちてしまったりしているので、除去効果に合わせて対応する。

(11) 活動を行ううえでの課題等

当該場所は、これまで不法耕作が行なわれ、作業小屋やブルーテントの物置などが設置されていたところを、平成19年1月に河川事務所の努力で撤去され、ヤナギなど樹木の疎林となっていた。

一昨年より作業を行い、昨年は、カラシナなどは劇的に減少するなどの効果が現れたものの、その他のイネ科、カナムグラ、アレチウリなどについては今年に効果のアリ・ナシが判明する。

効果が少なかった場合は、対象面積を絞ることの検討も必要。

(12) その他

2.3 淀川丸ごと体験会

(1) 活動目的

川に親しむことが少なくなってしまった子どもたちに、川を身近なものに感じていただくため、水辺で一日を過ごし、川の楽しさの体験、川と暮らしや淀川の歴史などの学習を集団活動として行うことで、環境教育的意義・自然の中での共同生活を通じた他人との関係の見直しのきっかけづくりも兼ねた取り組みとする。

あわせて外来種除去・クリーン作戦も行なう。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		・実施計画の立案 ・関係団体・機関との打合わせ
	5月		・広報準備 ・協力スタッフの手配 ・講師依頼
	6月		・広報活動 ・資料作成
	7月	淀川丸ごと体験会・外来種除去ク リーン作戦	・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合 せ ・機材等直前準備
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員。

管内小学校高学年以上 30 人 (グループごとに保護者同伴)

(3) 実施内容

水辺のデイキャンプ

8 時 ~ 18 時の間で

- ・ E ボート・田舟体験 (淀川舟運の学習)
- ・ ワンドや水辺の魚とり・生き物観察会 (水遊びと安全)
- ・ 外来種除去など水辺の清掃活動
- ・ 葦笛づくり
- ・ 土嚢作り体験
- ・ 水辺の昆虫採集 (トンボなど) ()

などのメニューを組み合わせる

当日タイムスケジュールの詳細は今後決定していく

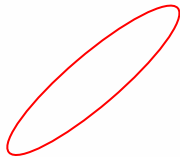
() 昆虫採集は、別途、「光に寄る虫の採集」を夜間に行うことも検討している

(4) 実施日

学校の夏休み中に実施 (平成 21 年 7 月 26 日 (日))

(5) 実施場所

点野わんど、淀川点野船着場、および船着場 ~ わんど間の点野砂州など



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャーホームページへの募集案内の掲載

寝屋川市の広報紙(7月1日号)への募集案内の掲載

小学校での案内チラシでの募集・NPOを通じた呼びかけ

申込締切日：広報紙、各団体とも 平成21年7月10日(金)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：ねや川水辺クラブ・青年会議所・摂南大学・NPO など10名
(運営補助・機材の搬入搬出・安全確保など)

講師：本多政雄さん	(葦笛づくり、トンボ採集)
水辺クラブ・摂南大学	(舟乗り体験)
河川レンジャー	(魚とり・生き物調査)
未定	(ネイチャーゲーム)

(8) 必要支援内容

- 国土交通省 : 資料の印刷
軍手、タオルの提供 (各 4 0 + 4 0)
ごみ袋 1 5 0 袋・土嚢袋 1 0 0 袋
河川レンジャーのぼりの借用
引き上げごみ・外来種の処分
生き物調査 (魚とり・虫捕り)
- 寝屋川市 : 広報掲載手続き
ボランティア車両の貸出し

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・関係機関との調整
- ・協力団体との調整、
- ・講師・スタッフの手配、
- ・会場整備の手配
- ・資料作成
- ・広報活動
- ・当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

トンボなどの砂州に生息する虫取りを行い、水辺や砂州が生き物にとって貴重な空間であることを感じてもらう

(11) 活動を行ううえでの課題等

枚方・守口の子どもたちの参加をどうするか

(12) その他

2.4 淀川と人との関わりの歴史探求

(1) 活動目的

- ・ 上水道のないころから河内平野に生活用水・農業用水を送っていた淀川沿いの取水樋で、現在唯一残る歴史遺産ともいえる点野・茨田の樋の復元整備箇所
- ・ ワークショップをおこなって市民参画で設計したスーパー堤防の“土砂備蓄緑地”
- ・ 緊急用船着場でありながら淀川舟運をお思い起こす太間船着場
- ・ デレーケによる淀川整備の象徴であり生き物の生息場所として貴重なワンドの一つである“点野わんど”と、かつての“たまり”の跡

などの現地見学を通じて、地域に密着したかたちで川と人のかかわりについて、小学生を対象に学習をおこなうことで、利水（社会と水・川（淀川）の関係）を主としながら、治水・環境についても学習することで川の大切さ・川のあり方について理解を深めてもらう。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		・実施計画の立案 ・小学校との打ち合わせ
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		・協力スタッフの手配 ・講師依頼
	9月		・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ
	10月	淀川と人との関りの歴史探求	
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

引き続き、小学校から強い継続要望あり

参加対象者 点野小学校の4年生を対象に実施。

定員 参加者生徒3クラス約100人及び教諭、保護者

3年生の総合学習で、かつての地域の生活・農業などについて学習していることを踏まえて、かつての地域の生活や生業であった農業生産の基礎となった淀川の学習とリンクさせて理解していただくため4年生を対象とした。

(3) 実施内容

学校で全体概要説明 学校出発 徒歩(学校側が誘導)現地へ

クラス(3クラス)毎に上記見学箇所に分れ、それぞれの箇所で順次ローテーションし

ながら見学する(説明・質問)[上記4箇所それぞれに説明員を配置]

全体でまとめ 帰校

10月 日 運動会行事の実施後

点野小学校

9時00分 : 児童学校集合

9時10分 : 児童学校出発 徒歩

9時40分 : スーパー堤防緑地現地到着

スタッフ・関係者

9時00分 : 関係者集合(スーパー堤防緑地)

関係者打ち合わせ

9時45分 : はじめのあいさつと概要説明(上田・堤防上)

9時55分 : 各組各説明ポイントへ移動

4年1組 茨田の樋 スーパー堤防土砂備蓄緑地 船着場

4年2組 スーパー堤防土砂備蓄緑地 船着場 茨田の樋

4年3組 船着場 茨田の樋 スーパー堤防土砂備蓄緑地

・3箇所の説明を終了したクラスから点野わんどに向かう

・説明スタッフ、補助スタッフは各自説明用資料等持って説明箇所まで同行し、各組を定点説明する。説明(質問含む)は10分程度とし、同行スタッフ3人は生徒現地到着後に各クラスに同行または、全体の進行補助をしていただく。

1 1時00分 : 点野わんどでの説明開始

・澤井先生 デレーケの水制とわんどの説明・質問 10分

・本多先生 わんどの生物についての説明・質問 10分

・到着したクラスから順次説明を受け、各クラスが2つの説明ポイントを回る（同時に到着した場合は1クラス、2クラスに分かれる）

1 1時20分 : 全体のまとめ（上田）・点野わんど

1 1時30分 : 学校に向け出発

1 2時00分 : 帰校

(4) 実施日

淀川と人との関りの歴史探求 平成21年10月中旬 平日

(5) 実施場所

点野・茨田の樋跡、点野スーパー堤防土砂備蓄緑地公園、太間船着場、点野わんど、
たまり跡

（理由...淀川の利水、治水・防災、舟運、環境について現地で学習するのにポイントが集中している適切な場所である）



(6) 広報・募集方法

点野小学校と直接調整する

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：ねや川水辺クラブ・摂南大学など10名

内 訳

説明員・講師：5人

- a. 茨田の樋 白川氏 [地元住民] (補助 水辺ク さん)
- b. 土砂備蓄緑地 国交省技官 さん (補助 水辺ク さん)
- c. 船着場 国交省技官 さん (補助 摂南大生 さん)

< 点野わんど >

d. デレーケの水制とわんどの説明

澤井氏 (淀川管内河川レンジャー推薦委員会 副委員長、
摂南大学工学部教授)

e. わんどの生物についての説明

本多氏 (枚方出張所管内河川レンジャー運営会議代表者、
寝屋川市自然を学ぶ会副会長)

補助スタッフ：ねや川水辺クラブ、摂南大学など3人 (各説明ポイントでの補助)

同行スタッフ：ねや川水辺クラブ3人

(生徒現地到着後に各クラスに同行移動、または活動全体の進行補助)

(8) 必要支援内容

国土交通省：点野スーパー堤防土砂備蓄緑地、太間船着場の説明員の派遣
資料の印刷 (デレーケ水制、わんど・水際が分かる新旧の地図など)
資料の提供 (船着場の防災的意義と舟運の歴史の分かるパンフレット等)
説明員用小型スピーカー
参加配布物の提供
河川レンジャーのぼりの貸与
保険の加入 (学校保険との関連確認) 他

寝屋川市：ボランティア車両の貸し出し (軽自動車3台)

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・学校との各種調整
- ・協力団体との調整
- ・講師・スタッフの手配
- ・資料作成
- ・当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

2.5 茨田樋イチョウまつり

(1) 活動目的

住民と市民の連携の証である茨田樋遺跡水辺公園の市民工事を記念した催しを、淀川堤防上を通っていた京街道に面して植えられた地域のランドマークである大イチョウと関連させて行うことで、淀川と地域・人との歴史のかかわりを広く市民に紹介し、今後の川との付き合いを考えていただく機会とする。

同時に、地域住民に地域の財産として末永く大切に育てていただくキッカケとする。

合わせて、川の楽しさを知ってもらいたためEポートによる幹川水路舟乗り、関係団体によるポスターセッション、市民工事のパネル展示もおこなう。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		地元、市民団体との調整
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		実行委員会開催
	10月		ギンナン採取、皮むき処理、広報掲載
	11月	実施	
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

市民、地元住民、流域住民

(3) 実施内容

茨田樋遺跡水辺公園で地元住民、隣接する新住民、流域の市民に呼びかけ、地元住民、市民団体、大学が協力して実施する。

- ・大イチョウから採取した銀杏の実をつかった銀杏（ギンナン）飯、銀杏炒り、トン汁を参加者に振舞う。
- ・茨田遺跡水辺公園市民工事、および河川レンジャー活動のパネル展示
- ・関係団体・小学校などのポスターセッション（予定）

(4) 実施日

平成21年11月の土日で調整

(5) 実施場所

寝屋川市点野 茨田樋遺跡水辺公園



(6) 広報・募集方法

市広報、BYQイベント情報、小学校、回覧板、ポスター

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

地元自治会、ねやがわ水辺クラブ、河川レンジャーとの共催とする予定

事 前

銀杏採取・皮むき : 自治会・水辺クラブ 数人
ポスター作成など

当 日

会場作り : 水辺クラブ・自治会 数人
銀杏飯の炊き出し : 自治会 数人
銀杏炒り、トン汁 : ねやがわ水辺クラブ・自治会
Eポート : 摂南大・水辺クラブ

(8) 必要支援内容

国土交通省 : ポスターセッションを実施した場合に、パネル貼り付け板の貸与と
雨天の場合の会場用テントの貸与

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

企画運営全般

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

雨の場合は、Eポートは中止

(12) その他

2.6 淀川と人との関わりを探る

(同 枚方管内・瀬野レンジャーとの連携により、今後実施に向けた検討を進める)

(1) 活動目的

下流域の淀川左岸は、かつて、生駒山地の麓から大阪湾まで広がる河内湾・河内湖であった。淀川と大和川などの運搬土砂で形成された土地であるという地形的経緯から、水文化は他の上流域とは異なっている。後背湿地で勾配がないため肥えた土砂が堆積し、蓮池に見られるように泥の沈殿も多い。勿論溪流や早瀬はない。河川は淀川と古川。その他は農業用水路である。

淀川本流から堤などで切り離されるまでの地域の水の流れは、淀川のデルタ地帯として古川筋を始めとする派流が多数分岐していたと考えられている。この肥沃で水に恵まれた生産力の高い土地で、古代から生産・流通の中心であり、地勢状の有利な条件を活かし東アジアなどとの交易も盛んで、難波・奈良・京の都を育んできた。

他方、早くから人口の集中が顕著で都市の発達に比例して、河川や水路も他地域に比べ人の手が加えられてきた地域であり、左岸流域の最上流部に位置する木屋、大間地区は、古くは茨田の堤、文禄堤、明治以降ではデレーケの沈床、合同樋門と幹線水路・二十箇用水樋・茨田の樋、木屋ポンプ場、近く高度成長時には、寝屋川導水路と国交省寝屋川ポンプ場、大阪府大間排水機場、河川公園、スーパー堤防、そして、食糧生産の研究拠点の淡水魚試験場（水生生物・水辺環境保全に係る調査研究拠点となった現水生生物センター）などが集積し、時代をリードし時代に翻弄された淀川の歴史、人との関わりを垣間見ることができる。

これらの施設や場所を見ながら、参加者に今後の淀川との関わりのあるあり方を考えてもらう機会を提供する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	未定	日程に合わせて準備
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 枚方・寝屋川を中心とする 淀川管内流域住民と一般市民。

定員 なし (30 人見込み)

(レンジャー研修として実施も ?)

(3) 実施内容

茨田の堤、文禄堤、赤井堤防、デレーケの水制、合同樋門と幹線水路・二十箇用水樋・茨田の樋、木屋ポンプ場、段蔵、寝屋川導水路と国交省寝屋川ポンプ場、大阪府太間排水機場、河川公園、スーパー堤防、水生生物センターなどの淀川関連施設の中から、実施内容・実施時間に合わせて適切な場所を選定し見学会をおこない、参加者に今後の淀川との付き合いのあり方を考えていただく。

(4) 実施日

未定

(5) 実施場所

寝屋川市木屋・太間地区などの「(3) 実施内容」に記載した上記施設

(6) 広報・募集方法

各市広報・B Y Q情報誌

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

移動時などに協力

(8) 必要支援内容

当該施設管理者から説明員派遣

(枚方市、寝屋川市、大阪府枚方土木、大阪府水生生物センターなど)

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

進行管理、説明

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年は、N P O団体を対象におこなったが、今年は市民対象におこなう

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

3. 荘司レンジャー

3.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする荘司レンジャーは以下の活動テーマのもと、1つの活動を実施します。

活動テーマ

「淀川の自然」と「淀川の歴史」を学び淀川を大切に守っていこう

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川環境保全を図る活動	淀川の野草ウォッチング
	・初夏の淀川自然観察と楠葉ワンド見学
	・秋の淀川自然観察会と淀川資料館見学

3.2 淀川の野草ウォッチング

(1) 活動目的

身近な淀川、初夏ともなればいろいろな野草が咲き、樹木は新緑に映え、淀川の自然の豊かな息吹を感じとれます。また秋にはオギやセイタカヨシ・ススキなどが淀川の豊かな自然の移ろいを感じさせてくれます。自然と共に、治水や利水を含めて、この淀川が、どのような歴史の変遷を経て現在のようになったのかなどについて学び、淀川環境を維持向上させていくために、今後どのように淀川と接して行けばよいのかを皆で考える機会作りをしたい。そして淀川環境保全に少しでも役立つ行動が芽生えていくことを期待しつつ、地域住民の方に淀川への愛着を高めいただくことを目的として活動を進めます。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		・実施計画の立案 ・準備（広報・1回目の下見・資料の準備・応援の手配など）
	5月	5月31日（日） 初夏の淀川自然観察会本番実施	・上旬～中旬 2回目の下見 ・資料作成、講師・協力スタッフとの打ち合わせ
	6月		
	7月		
	8月	（秋の活動準備スタート）	・実施計画立案
	9月		・準備（広報・1回目の下見・資料の準備・応援の手配など）
	10月		・中旬～下旬 2回目の下見 ・資料作成、講師・協力スタッフとの打ち合わせ
	11月	11月1日（日） 秋の淀川自然観察会本番実施	
	12月	* 反省と次年度活動計画作成	
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・枚方管内中心の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
 - * 特にご家族での参加を歓迎
- ・定員は約 30 名/回 . . . (自然観察会で説明して対応できる限度)

(3) 実施内容

初夏の淀川野草ウォッチングと楠葉ワンド見学

時間： 10 時 ~ 15 時 楠葉ワンド にて解散

植物観察 講師及び投網実演と水生魚観察講師は後日依頼予定

また野鳥観察や全体の安全管理など協力スタッフも依頼予定

- * 牧野より樟葉までの約 4 Km を植物観察と野鳥を観察しつつ歩く
- * 途中で 3 箇所にて「淀川ミニ講座」（荘司 R）を実施して淀川の現状や歴史を語る
- * 楠葉ワンドでは投網なども実施してワンドでの生物の生態やワンド歴史や意義などを学んでいく
- * 楠葉ワンド周辺での清掃活動（クリーンアップ）の実施
- * 最後に参加者に一口感想メモなどをいただき今後の活動へ反映させる

秋の淀川野草ウォッチング

時間：10 時 ~ 15 時

- * 牧野より川沿いに枚方の淀川資料館までの約 5 Km を
 - 植物や野鳥中心に自然観察をしながらゆっくりと歩く
- * 歩きながら 「淀川ミニ講座」（荘司 R）を実施して淀川の現状や歴史を語る
- * 淀川河川敷公園では船着場や水位観測所の見学も実施
- * 歩きながら適当にゴミ拾いなども実施する
- * 淀川資料館にて淀川の自然や歴史を学ぶ
- * 最後に参加者に一口感想メモなどをいただき今後の活動へ反映させる。

注意 : 途中で雨が降り出した時には 淀川資料館に早く行って淀川の歴史などのお話しをするようにしたい。

(4) 実施日

実施日：平成 21 年 5 月 31 日（日）

初夏の淀川野草ウォッチングと楠葉ワンド見学

実施日：平成 21 年 11 月 1 日（日）

秋の淀川野草ウォッチングと淀川資料館の見学

(5) 実施場所

・・・ 牧野～楠葉ワンド までの河川敷



・・・ 牧野～枚方河川敷公園～枚方淀川資料館 までの河川敷



(6) 広報・募集方法

- * 淀川管内河川レンジャー ホームページへの募集案内の掲載 (4月1日～10月23日)
- * 「広報ひらかた」への掲載や 枚方管内の公民館などに案内チラシを置いてもらう
- * 地域のサークル活動メンバーへのPR 活動実施

E X 淀川自然クラブ、地元のシニアクラブや子ども会

・申込締切日：第1回 5月22日(金)

第2回 10月23日(金)

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- * 自然観察の指導ができる仲間 3~5人 (NPOシニア自然大学関連の人)
- * 講師・・・植物観察及び水生生物解説できる人(昨年度依頼した方で交渉予定)
- * 役割としては

テーマ では自然観察の説明や誘導

安全確保及び投網実演など

テーマ では自然観察の説明や誘導

自然工作指導 安全確保

(8) 必要支援内容

国土交通省：活動全般についてのアドバイス(含む 広報活動)

資料や案内チラシの印刷

河川レンジャーののぼりの借用

必要な文房具など(ポストイットやマジックなど)

ワンド や 淀川の実環境保全関連のPR資料

講師などへの交通費や謝礼

淀川資料館での説明講師(学芸員)の支援

- * 全般について 安全確保についてのアドバイス(歩く道について)、障害保険
「広報ひらかた」などへの掲載手続きなどもご指導ください。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 各テーマの企画 ~ 運営 全般
- ・ 講師・協力メンバーの支援要請と打ち合わせ
- ・ 広報及び参加メンバー確保への尽力

- ・ 淀川の自然観察指導や歴史などの「淀川ミニ講座」の資料作り
- ・ 当日の運営と反省やまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 昨年は子どもたちの参加が少なかったので今年はもう少し PR のときに地域の子ども会や近くの学校などへの PR にも努めたい。
- ・ 参加者との対話の時間をもっと持ちたい。(そのためには時間配分を再検討)
- ・ 自然観察会をやりつつゴミもうまく拾えるような工夫

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 河川敷の自然観察会では雨天の時の対応
- ・ トイレの確保問題 (特に楠葉ワンド付近と 御殿山磯島グランド近辺)
- ・ 自然観察中心の地味な活動の中で参加者にとっと参加して良かったと思っていただけのための創意工夫

(12) その他

河川レンジャー活動の PR も兼ねているいろいろな場で淀川とのかかわりを増やしていきたい。

- EX
- ・ 淀川の自然を楽しむ会への参画
 - ・ 地域での淀川ハイキングの実施
 - ・ 他の河川レンジャー活動への協力活動

以上

4. 瀬野レンジャー

4.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする瀬野レンジャーは以下の活動テーマのもと、2つの活動を実施する。

活動テーマ

1. 淀川の環境保全、利用を啓発する活動

淀川の水が住民に沢山利用されている事や健康に良い水がどのように処理されて供給されているか啓発する。

2. 淀川の自然、景観を啓発する活動

枚方地区の環境について出前授業をして淀川の自然、景観などを啓発する。

支援 国交省淀川河川事務所
協力 淀川自然クラブほか
後援 未定

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
淀川の環境保全、利用を啓発する活動	1. 枚方市ほかの浄水設備の取水場の見学会を実施
	2. 大阪市浄水設備の取水場の見学会及び楠葉ワンド周辺の淀川自然観察会、楠葉ワンドの観察会の実施
淀川の自然、景観を普及する活動	淀川の自然景観について枚方地域の特徴をなぎさ高校で出前授業を実施

4.2 枚方市、大阪市ほかの浄水設備の取水場の施設見学会及び淀川自然散策会

(1) 活動目的

淀川の水が利用されて飲料水として活用されている実態を啓発して住民参加を図る。淀川から取水して浄化されて飲料水として市民に供せられている。一方下水道、雨水についても淀川の役割は大きく淀川の恩恵をこうむっている。それらの機能を説明して設備の見学を行う。(枚方市、大阪市上水道の取水場施設)

浄水場は淀川から離れており見学は出来ないが取水口からポンプ場とその周辺の自然観察を行い淀川の果たしている役割を啓発する。

施設の見学会は春・秋に分けて2回行うが春には磯島地区、秋には楠葉地区にて実施する。

楠葉地区については樟葉ワンドの再生計画の実施状況について見学会を行い住民参加を啓発します。

平成21年度 年間スケジュール

年 月		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		磯島取水場見学会の活動実施計画の具体化 枚方市環境部門とテーマの選定と講師の人選を進める 施設見学の具体化
	5月		広報を実施 参加者募集
	6月		見学会準備
	7月	磯島取水口、ポンプ場の見学及び周辺の淀川周辺散策会の実施	
	8月		大阪市樟葉取水場、楠葉ワンド見学会 活動実施計画の具体化
	9月		広報を実施 参加者募集、見学会観察会の準備
	10月	楠葉地区の大阪市取水場、楠葉ワンド自然観察	
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 実施対象者・定員

- 1) 一般成人 淀川や環境についての関係者
- 2) 定員は 20 名。

(3) 実施内容

1) 枚方市磯島地区の浄水設備の見学会

枚方市の浄水設備の取水口と取水場の見学を行う。

枚方市の浄水設備のシステム、水質管理、規模を説明して淀川の水を美味しく市民に供給しているかについて説明する。

ポンプ場と取水口を見学するがその間淀川の河川敷の自然についても散策する。

見学会案内 枚方市水道局

2) 大阪市楠葉地区の浄水設備の取水口、取水場見学会、楠葉ワンドまでの淀川河川敷・

楠葉ワンド観察会

大阪市の浄水設備の取水口と取水場の見学を行う。

見学会案内 大阪市水道局

取水ポンプ場から楠葉ワンドまでの淀川の自然観察会と楠葉ワンドの観察会。

観察会案内 未定

(4) 実施日

- 1) 枚方市磯島地区の浄水設備の見学会 (7 月)
- 2) 大阪市楠葉地区の浄水場の見学会、淀川河川敷・楠葉ワンド観察会 (10 月)

(5) 実施場所

1) 枚方市磯島地区の浄水設備取水場などの見学会 淀川の磯島取水場付近



2) 大阪市楠葉地区の浄水設備取水場の見学会、淀川河川敷・楠葉ワンド観察会 楠葉ワンド付近



(6) 広報・募集方法

1) 広報 昨年同様で枚方広報に掲載、チラシ、ポスターで生涯学習市民センター等に掲示する。

関係者に要請する。(なぎさ高校、自然クラブ等、昨年の参加者)

淀川管内河川レンジャーホームページに掲載

枚方市のホームページに掲載

枚方市広報に掲載（枚方市の後援をお願いします）

2) 受付 淀川河川レンジャー中央流域センターに電話、ファックス、葉書とする。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

1) 協力スタッフ レンジャー協力者として2名程度 人選は未定

2) 役割 資料準備、レンジャー旗看板の準備、会場受付、フィールドワークの引率と安全誘導。

3) 講師 水道設備 枚方市、大阪市水道局職員
淀川自然観察 別途人選

(8) 必要支援内容

1) レンジャー名刺手配、連絡先をレンジャー事務所とする。

2) 広報活動 河川レンジャーのホームページに掲載

3) チラシ、ポスターの印刷

4) チラシ、ポスターの河川関連部門への配布

5) 応募者の受付。

6) 実施計画の作成に当たり枚方市環境部門、水道局の協力の支援。実施計画作成の助言

7) 講師、現地案内人の人選

8) 講座、現地フィールドワークの河川レンジャーののぼり

9) 講座日の受付、資料配布、アンケート回収の手伝い

(9) 活動における河川レンジャーの活動

1) 実施計画の設定。安全管理計画の作成

2) 枚方市環境管理部門、枚方市水道局、大阪市水道局に見学会の準備、資料準備と案内をお願いする。

3) チラシ、ポスターの作成と配布

- 4) 講師の人選と準備とその折衝、資料作成を進める。
- 5) アンケートのまとめと活動の問題点を把握する。
- 6) 協力スタッフと連携する。
- 7) 市民が淀川に親しみを感じてもらえるように常に課題をまとめ課題整理と提案をする。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

参加者の応募についてなかなか把握が出来なかった。一般応募による応募以外に関心のある所に重点的に募集を行う。日程に時間的に余裕をもつように工夫する。

公民館での淀川講座は当日の飛び入り参加者があり淀川レンジャー活動が初年度で今後さらにPRが必要である。昨年参加された方に、イベントの趣旨を簡単にPRすることが大切である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- 1) 枚方地区の淀川の特徴と現状を景観、植物から簡単明瞭に把握してPRする。
淀川の水が市民に沢山な利用、恩恵を与えている事を分かりやすく説明する。
- 2) 実施計画の設定にあたりは安全管理や日程管理を関係者とよく話し合う。特に協力スタッフが弱体で昨年はなんとか乗り切れたが協力スタッフつくりに進ませたい。関係する団体はたくさんあるのでその活動内容を理解して協力関係を高めたい。1年1年の積み重ねを図る。
- 3) 枚方市の環境管理部門、水道局のスタッフの連携に留意する。淀川の水の利用と恩恵についてPRする。見学会は平日に開催する。
- 4) 淀川河川敷の自然観察、楠葉ワンドの観察会について本年は新たな場所であり季節の特徴を把握して新しい楠葉ワンドの現状を啓発する。

(12) その他

淀川の水の利用方法とそのシステム、楠葉ワンドを重点的に説明する。

4.3 淀川の自然、景観を啓発する活動

枚方地区の環境について出前授業をして淀川の自然、景観などを説明する活動とする。

(1) 活動目的

枚方出張所管内に6つの区域に分けて景観（植物）の特徴など写真撮影して枚方管内の特徴や課題を把握して将来残しておきたい事柄をイメージする写真集をまとめる。

なぎさ高校には淀川と環境について出前授業に赴き平成20年には牧野水制工、樟葉ワンドの再生計画を説明した。平成21年は淀川の景観、植生の写真でその特徴を説明する。合わせて枚方地域について淀川の現状を把握する。

平成21年度 年間スケジュール

年 月		実 施	準 備 等
	4月		写真撮影
	5月		写真撮影
	6月		写真撮影
	7月		写真撮影
	8月		写真撮影
	9月		写真撮影
	10月		写真撮影
	11月		出前授業の資料作成
	12月	なぎさ高校の出前授業の実施	
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

出前授業 なぎさ高校学生 20名

(3) 実施内容

なぎさ高校にて淀川と環境について21年度課題について啓発するとともに写真で枚方地域の淀川の現状と特徴を説明する。

枚方地域の淀川の写真は今後の枚方の淀川の姿をイメージする簡易なものとする。

(4) 実施日

- 1) 出前授業 平成21年12月中旬
- 2) 写真撮影 平成21年4月～22年2月

(5) 実施場所

- 1) 出前授業 なぎさ高校
- 2) 写真撮影 枚方地区の淀川河川敷を6地区に分けて全域を撮影(簡易なもの)



(6) 広報・募集方法

枚方環境ネットワークと連携する

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

1) 協力スタッフ 未定 口頭で協力者を呼びかける。

2) 役割 写真撮影、編集

(8) 必要支援内容

1) 写真と特徴についての確認

2) 写真のコピー

(9) 活動における河川レンジャーの活動

1) 淀川の景観の撮影

2) 淀川写真の編集

3) 協力者を口頭で広げる。

4) 関係者に特徴を説明する。

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

出前授業は生徒に理解できる簡単なもの

(11) 活動を行ううえでの課題等

1) 淀川を 6 地区に分けて現状と特徴を把握する。

2) 最初であるので簡単なものとして多数の人の考えを聞く。枚方市の景観条例についても参考にする。

(12) その他

出前授業は淀川の課題について説明する。

写真は最初の年であるので淀川の中で枚方地域の特徴がつかめるようにする。

5. 山口レンジャー

5.1 活動テーマと活動分野

枚方出張所管内を活動エリアとする 山口レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ
琵琶湖・淀川流域での環境保全活動とネットワークづくり

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	庭窪ワンド自然観察会（野鳥、植物観察など）又は勉強会（浄水場の豆知識など）
〃	庭窪ワンド付近清掃活動（外来種植物除去含む）
河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報発信（H21年度検討）	琵琶湖・淀川流域各地の活動内容等の情報共有を行うべく、市民・企業・NPO・行政との協働ネットワークづくり（メーリングリスト、ホームページ作成等）

5.2 琵琶湖・淀川流域での環境保全活動とネットワークづくり

(1) 活動目的

私達の命の源である「水」、1400万人の水供給をしている「琵琶湖・淀川水系」での「水環境」を地域の人達と一緒に考えて行きたい。

そのために、淀川の水環境を知っていただく「気づき」の場を提供、具体的な「行動（アクション）」の場を提供、活動内容を「つなく（ネットワーク）」活動を行います。水環境の実態を知ることにより、生活排水を注意したり、使用量を抑えようとか、ライフスタイルの見直しなどの行動につながると考えます。

そしてそれぞれの行動をネットワークすることにより、自然との調和ある社会が実現されるものと信じています。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		2月迄に実施計画 3月中に広報準備、 協力スタッフ手配、講師依頼、 資料作成、講師、スタッフとの 打ち合わせを予定
	5月	a.庭窪ワンド自然観察会（植物）	
	6月		
	7月		
	8月		
	9月	b.庭窪ワンド付近清掃活動	
	10月		
	11月	c.庭窪ワンド外来種植物除去活 動	
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月	d.庭窪ワンド自然観察会（野鳥）	
	3月		

(2) 参加対象者・定員

各活動全て一般地域住民対象で定員 20 名

(3) 実施内容

a.庭窪ワンド自然観察会 (5 月)

植物観察

b.庭窪ワンド付近清掃活動 (9 月)

清掃活動

c.庭窪ワンド外来種植物除去活動 (11 月)

ワンド内の外来種植物除去作業

d.庭窪ワンド自然観察会 (2 月)

野鳥観察

(4) 実施日

a.庭窪ワンド自然観察会 (5 月)

b.庭窪ワンド付近清掃活動 (9 月)

c.庭窪ワンド外来種植物除去活動 (11 月)

d.庭窪ワンド自然観察会 (2 月)

(5) 実施場所

庭窪ワンド付近
外来植物除去範囲



(6) 広報・募集方法

守口市、門真市広報

門真エコネットワーク連絡会 参画団体への呼びかけ

河川レンジャーHPなど

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

各活動

協力スタッフ 5名 (写真撮影記録 1名、備品運搬協力 4名)

(8) 必要支援内容

自然観察会での講師費用 (植物と野鳥に詳しい専門家)

外来種植物除去に使用する備品 (清掃用具一式、長靴、胴長靴、ゴミ袋など)

ボランティア保険加入

備品搬出搬入のための乗用車乗入れ許可

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

講師・スタッフの手配、連絡

広報活動

資料作成

用具手配、準備

当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年活動実績なし

(11) 活動を行ううえでの課題等

河川レンジャーとして初めての取り組みとなる。

特に参加者の安全面を注意したい。

(12) その他

河川レンジャー活動に関するニュースの発行等の情報発信については、

平成21年度は検討期間とし、具体的には平成22年度に実施(予定)。

